

山内公式LINE



命を守る、
まっとうな政治を!

山内かなこ

宮崎県参院総支部長に決定!

3月、立憲民主党宮崎県参議院第1総支部長に、山内かなこ氏(元新聞記者、前宮崎県議会議員)が就任しました。命を守る、まっとうな政治の実現を目指し、今夏の参院選に向けて、宮崎県連一丸で活動に取り組んでいる様子をお伝えします。【編集部】

今夏の挑戦へ 記者会見

立憲民主党宮崎県連は3月、宮崎市内のホテルで記者会見を開き、今夏の参院選に、山内かなこ氏を擁立する意向であることを正式に発表しました。

宮崎県連の渡辺創代表は「衆院宮崎1区で立憲の公認候補が2期連続で議席をいただく中、参院でも皆さんの多様な声を反映し、政治への期待の受け皿となる選択肢を示すために擁立を固めた。記者時代に磨いた



現場主義、県議選(宮崎市区)トップ当選後の献身的な活動を踏まえ、最適な人材と考えた」として、山内氏を擁立するに至った経緯を説明しました。

所信表明の中で、山内氏は「国会での高額療養費負担引上げをめぐる議論からも、現政権の姿勢の一端が垣間見える。毎日食べる米の値段をはじめ物価高騰が続き生活が苦しいといっているさなか、患者団体などの当事者の声を聴くこともなく、命を脅かすような議論が行われてしまった」と糾弾。「生活はもちろん、命を守る政治を。皆さんの信頼をいただける、まっとうな政治を実現したい」と、力強く述べました。



〈プロフィール〉宮崎市出身、在住。44歳。旧姓は堀口。橿小、宮崎大学附属中、宮崎西高理数科、東北大学法学部卒業後、2003年宮崎日日新聞社入社し、19年記者を務めた後、退職。2021年11月宮崎県議補選で初当選、2023年4月の県議選(宮崎市区)でトップ当選を果たした。6歳と4歳の息子の母。趣味は自宅の花植え(宮崎ピオラ)。



山内かなこが目指す 「一人ひとりを大事にする政治」

命を守る



- 高額療養費負担引上げは反対
- 地域の医療・福祉の底支え、更なる充実

災害に備える



- 木造住宅耐震化の促進
- 避難所充実化で震災関連死「ゼロ」への挑戦
- 南海トラフ地震対策の促進

まっとうな政治の実現

- 「緊張感」と「熟議」の国会の実現
- 当事者・専門家の意見が生きる政策過程
- 金権政治との決別

暮らしを支える



- 急務は
物価・米の価格高騰対策、賃上げ
(農業・食料・物流・中小企業を支える)
- バス、電車など地域公共交通の堅持
- 年金・福祉制度の充実

未来をつくる



- 少子化対策＝「分娩空白地帯」への対応、産後ケアの促進
- こども・若者を育てる＝
学校給食費・授業料無償化・雇用の安定
- 超高齢化社会に対応できるまちづくり

100の対話プロジェクト、始まっています!

県内26市町村をくまなく訪問し、皆さんが抱える社会課題について、国政に生かすために、まずは100回の対話を目指す「100の対話プロジェクト」を現在、スタートしています。「出産できる産科医療機関が近くにない」「子ども・若者対策を考えるなら、子ども・若者の声を聴いて」「報道を見て、年を重ねるのが不安」など、さまざまなお声をいただいています。課題を深掘りし、政策・予算へと形にするまでが政治の役割です。皆さんの声もぜひ聴かせてください。



ポスター
もっと
増やし隊

ご協力
お願いします!



〈事務所連絡先〉
〒880-0001 宮崎市橘通西5-5-19 渡辺創事務所内
Tel.0985-77-8777 FAX.0985-77-8778
メール yamakanajimusho@gmail.com